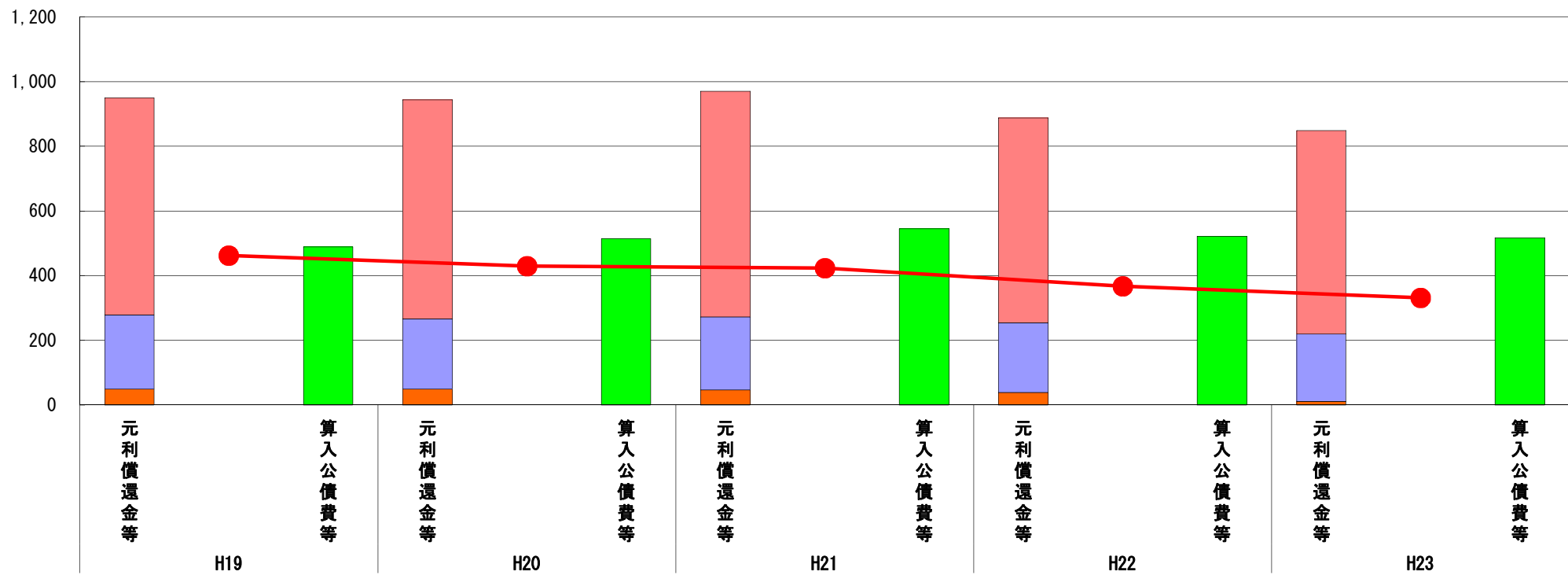


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

鳥取県三朝町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		671	677	696	635	629
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		230	216	226	215	210
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		49	50	47	38	10
	債務負担行為に基づく支出額		-	-	-	-	-
	一時借入金の利子		-	-	0	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		488	514	545	521	517
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		462	429	424	367	332

## 分析欄

平成23年度の実質公債費比率は15.2% (3カ年平均)で、昨年に比べ1.9ポイント下がりました。

要因として、元金償還が進んでいることや、公営企業債の元利償還金に対する繰入金も償還のピークを過ぎたことにより年々減額となっており、算入公債費等は元利償還額に合わせて減少となる見込みで、実質公債比率の分子も年々減少になる見込みです。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。